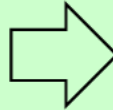


安心でおいしいお米を、新潟のまん中から世界へ  
～ 農事組合法人 木津みずほ生産組合 ～

経営体の概要

昭和63年  
基幹作物：水稲  
経営面積：18ha



平成28年  
基幹作物：水稲、西洋梨（ルレクチェ）  
経営面積：45ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

国営かんがい排水事業をはじめ、各種土地改良事業が実施されることにより、地域の浸水被害が防止され、農業経営の安定が図られたことなどが契機となり、西洋梨の生産、米の輸出、太陽光発電（ソーラーシェアリング）、地域と協力した農地集約等を行えることとなった。

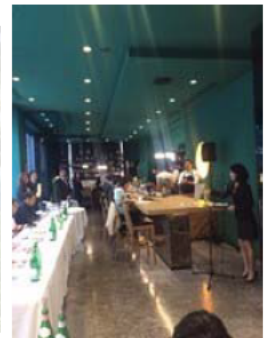
営農改善のポイント

①流通・販売の工夫

海外で評価され、日本の米はやっぱりいいんだなと日本人が改めて気付けば、国内消費が伸びていくのではないかと思ひ、米の輸出も手掛け、順調に売れ始めた（H28年度は約62 t 輸出）。



袋がけされたルレクチェ



ミラノでの新潟米PR

②規模拡大・土地利用調整

農地中間管理機構に農地を集約するため関係機関と共に農家説明会で、組合代表自らが率先して説明するなどしている。

③その他

ソーラーシェアリング（営農型発電設備）を導入し、露地プール育苗の上に太陽光パネルを設置して、農業と発電を一緒に行っている。設置費用は約1,800万円、売電収入は年間約180万円なので、10年間で費用を回収できる予定。



ソーラーシェアリング

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業  
関係市町：新潟県新潟市（旧新潟市、旧横越町、旧亀田町）  
受益面積：4,235ha  
事業期間：平成14年～平成20年  
事業目的：排水改良  
主要工事：排水機場1式

位置図（新潟県）



亀田郷地区

<問い合わせ先>

北陸農政局  
農村振興部農地整備課  
営農指導係  
電話：076-232-4725

（平成29年度調査時点）